

「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い(道案)」等に対する
主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

感染経路不明割合が上昇傾向にある中で、大型連休を前にさらなる感染拡大が懸念される。現在、積極的疫学調査はハイリスク施設に重点化され、感染の可能性がある者の特定は、感染者ご本人や事業者が実施することになっているが、対応方法を改めて周知する必要がある。

1-②

感染の状況が収まらないので、引き続き、感染対策を継続すべきと考える。北海道の3回目ワクチン接種率が全国平均に追いついて良かった。より一層のワクチン接種の推進、特に若い世代の接種の加速をお願いする。

1-③

道案に異論なし。
高齢者施設等で感染者が確認された際の対応について、引き続き、入所者の症状や持病の状況に応じ、入院や施設内療養などの対応をお願いする。

1-④

感染防止対策を進めつつ、社会経済活動をどう回復させていくかということが重要であり、そこにしっかりと取り組んでいただきたい。

1-⑤

道案に異論なし。
新規感染者数が2,000人を超えるなど増加傾向にある中、感染者における世代別などでの主な感染経路やリスクの高い行動など、感染の実態に応じた注意喚起を行う必要がある。
また、自身や身近な人が新型コロナに感染した時の対応の流れ等について、あらためて周知をお願いしたい。

1-⑥

道案に異論なし。
ただし、30代以下の感染が7割を占めていることから、若者に対する感染予防の啓発を工夫していただきたい。
テレビを見ない若者へは、WEBでの発信などを強める必要があると思う。若者の行動制限、3回目ワクチン接種啓発の工夫が求められていると考える。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

新規感染者数が増加傾向にある中、感染拡大への不安を感じる市民が増えている。不安の解消だけでなく、感染の早期発見のためにも、現在、道が行っているPCR等検査無料化推進事業において、実施機関の拡充や対象期間の延長など、感染状況に応じた柔軟な運用を行っていただきたい。

2-②

新規感染者数が増加傾向にあり、多くの方が自宅療養となっている。不安なく自宅療養ができるよう、相談対応や物資支援など、引き続き、サポート体制の充実をお願いする。

感染に不安を感じる無症状の方が、希望どおりに無料でPCR等の検査が受けられるよう、検査キット等の物資支援を含めた検査体制の充実をお願いする。

2-③

これまでの取組を継続することに異論なし。

これからゴールデンウィークを迎えるが、今一度、道民の気の緩みを引き締めるべく、マスクの着用、換気の励行、黙食の徹底といった一人ひとりができる基本的な感染対策を、強いメッセージで発信していただくようお願いする。